

学びを広げる 作品を読み直す

ワークシート記入例

選んだ作品 記憶している「内容」や 「印象」	「絵仏師 良秀(宇治拾遺物語)」(24ページ) 良秀が妻や子供の命よりも絵を書くことを優先していた様子。授業でもその姿勢についてみんなと意見交換した。 再読した後の「印象の違い」や改めて「気づいたこと」	当時、火事の様子を目にすることが多くなったからこそ、写実的に描かれた火炎のみなどを後の人も称賛したのかもしれない。
理由の分析	美術の授業で、写真の発明によって物事を単に忠実に描く技術の価値が下がり、その後キュビズムなどのさまざまな表現が現れたことを学んだ。テレビやインターネットで簡単に火事の様子を見られる現代と異なるからこそ、忠実に描かれた良秀の火炎の絵は高く評価されたのだと思う。	